

(第17号) 昭和24年12月19日

刊 夕

# 磐城日報

白銀町十一  
電話(呼)一〇三八番  
編集發行人後藤幸夫  
毎週水曜日休刊  
一ヶ月三十四日  
一部一四四

## 労災保険滞納

### いよいよ整理へ突進

差押へ二十六日から断行

平勞働基準監督署では約一千萬圓を突破する労災保険料の滞納整理のため前後策を講じて、いよいよ二月十三日より十七日迄を

準備期間十九日より二月二十八日迄三日間を最後の整理期間として大詰の整理に乗り出す事となつた

準備期間は既に過ぎておりこの期間では新聞紙上で警告を要すると共に各當該事業主へはがきをもつてそれへ通知してあるので今十九日から署員がそれへ区域を分擔の

日迄を實行期間二十六日より二十八日迄三日間を最後の整理期間として大詰の整理に乗り出す事となつた

上事業主に對して最後の談判へ出張する譯である

歲末に入つてのこの徵稅

旅風は事業主には相當手痛いがこれも止むを得ない次第

尙整理を受ける町村の滞納件數は次の如くである

野十二、小瀬濱三六、赤井二十六、湯本一六、江名八、四倉二十五、豊間一、田人九、磐崎五、箕輪八、錦八、泉一、草野好間四、山田八、澤渡一等

新尼子橋

總工費約千二百五

圓を投じあらたにモダンなあま子橋の出現

尼子橋上流五百二十

する事は三十米道路の完成

米の個所に架設され

新尼子橋は改修された

この新橋は改修された

お正月を迎へるのも後旬日

モチ攜く杵の音を聞くもの

お正月を迎へるもの

お正月を迎へるのも後旬日

モチ攜く杵の音を聞くもの

お正月を迎へるのも後旬日

モチ攜く杵の音を聞くもの

お正月を迎へるのも後旬日

モチ攜く杵の音を聞くもの

お正月を迎へるのも後旬日

モチ攜く杵の音を聞くもの

お正月を迎へるのも後旬日

モチ攜く杵の音を聞くもの

お正月を迎へるもの

## 早くも起工 中(11) m 延長(50) m 東北の玄關を飾る

### 卓球大会

盛大に終る

磐城スポーツ連盟主催第一回官公衛对抗並に個人対抗

卓球選手権大会は十八日午

件の恐かつをした容ぎによ

可とは不都合だと千圓を恐

喝したのを手始めに濱三郡

を足場に同様手段で二十數

貸には許可がいるのに無許

を受けているが池浦は本年

五月頃市内柳町味噌販賣業

行者池浦清(三五)は十八日

午後九時頃恐喝の容疑で平

市署員に自宅から撲擧され

引續き留置の上嚴重取調べ

会川卯三郎さん方に至り金

渡邊決勝

午後九時頃恐喝の容疑で平

市署員に自宅から撲擧され

引續き留置の上嚴重取調べ

会川卯三郎さん方に至り金

渡邊決勝

午後九時頃恐喝の容疑で平

市署員に自宅から撲擧され

引續き留置の上嚴重取調べ

会川卯三郎さん方に至り金

渡邊決勝

五風十雨

福島縣内で二十一

四米穀年度に取

りかかる

主食の摘穀は實

に六十一万三千

百七十八キロ、そのうち

米が四十七万三千三百十

六キロで東北六縣中最高

金田2-1-0 新妻

塩澤2-1-1 丹

齊藤2-1-0 大

内柴2-1-0

斎藤3-2-2 渡邊

金田2-1-0

塩澤2-1-1

新妻

